

全国の自治体で初めて、赤穂市に衛生用品防災備蓄自動販売機を設置

3月28日(火)、赤穂市とアース製薬株式会社との包括連携協定の一環として、台風被害や南海トラフ地震等を想定した地域防災力の強化を目的に、全国の自治体に先駆けて、衛生用品防災備蓄自動販売機を指定避難所2か所に設置しました。設置にあたっては報道発表会を開催し、牟禮正稔 赤穂市長、溝田康人 赤穂すこやかセンター長、安原浩一 顧問(アース製薬)が出席いたしました。災害時には契約に基づき、当自販機に備蓄された衛生用品・飲料水・食品などを被災者に無償で提供します。

1.設置場所

赤穂すこやかセンター、中央公民館

2.備蓄品

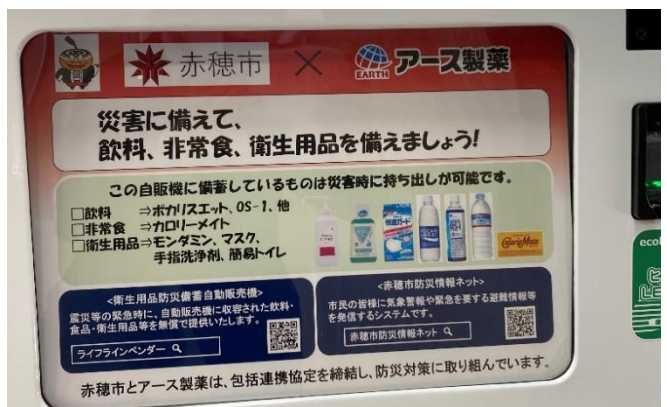
衛生用品：モンダミン、手指洗淨液(アクアクリエイト)、マスク、非常用簡易トイレなど

飲料水：ポカリスエット、OS-1など

食品：カロリーメイトなど



自販機の仕組みについて、大塚ウエルネスベンディングの佐藤課長が説明をいたしました。



ボディには防災情報を掲示し、市民の防災意識の向上にも取り組みます。